

## 公開文書

令和 3年 5月 31日

### (臨床研究に関する公開情報)

水戸医療センターでは、下記の臨床研究を実施しております。この研究の計画、研究の方法についてお知りになりたい場合、この研究に検体やカルテ情報を利用することをご理解できない場合など、お問い合わせがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。なお、この研究に参加している他の方の個人情報等は、お答えできない内容もありますのでご了承ください。

【研究課題名】 新鮮骨粗鬆性椎体骨折患者の1週間安静入院による保存加療に関する臨床研究

【研究責任者】 水戸医療センター 医師 中川翔太

【研究の概要】 新規骨粗鬆症性椎体骨折患者の保存治療の観察研究

40歳以上の21.8%が椎体骨折を有すると報告されており、骨粗鬆症性椎体骨折の保存治療に関しては慣例的に3-4週の安静が行われていますが、統一した見解は得られていません。現存する最もEvidenceがある研究では、3週間の安静群と早期離床群での成績を比較し、椎体癒合率に有意差は見られていません。長期の安静臥床は全身廃用を進める可能性が高く、医療費の増大や入院期間の延長に伴う全身合併症の可能性も増えることから、同等の成績でより治療期間の短縮化が可能であれば、臨床的意義は大きいと考えます。

当院では、新鮮骨粗鬆症性椎体骨折患者を対象に1週間の安静入院を行い、ジュエツト型コルセットを着用して離床を行うプロトコルで保存加療を進めています。この臨床成績を既存の先行研究と比較検討し、より有効な保存治療プロトコルの構築を目指します。

本プロトコルで治療を進める中で、痛みや麻痺の悪化や画像所見の悪化が認められた場合は、我々の判断で随時治療方針を変更させて頂きますので、ご安心下さい。

【個人情報の取扱い】 利用する情報からは、お名前、住所など、個人を直接特定できる情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

【問い合わせ先】 国立病院機構水戸医療センター 小川健  
電話 029-240-7711 FAX 029-240-7788